

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	産業振興課長 林 浩一
市民-20 水産業振興運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 産業振興課 関連課
総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針 農業・漁業の振興

1 事業の目的

対象	漁業従事者等
意図	水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。
効果	つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

漁業協同組合への補助金の交付、各種水産関係団体への参加等により、水産業の振興を図った。 漁業者・関係団体等で組織する協議会において、鎌倉の水産業振興について協議・検討を行った。
---

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	2,089	1,968	当初予算(千円)	2,547			
	国県支出金			国県支出金				
	地方債			地方債				
	その他			その他				
	一般財源	2,089	1,968	一般財源	2,547			
事業経費運営	人員配置数	0.1	0.4	人員配置数	0.5			
	人件費(千円)	766	3,078	人件費(千円)	3,849			
	総事業費(千円)	2,855	5,046	総事業費(千円)	6,396			
	市民1人当りの経費(円)	16	28	市民1人当りの経費(円)	36			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	2. 廃止・休止による影響は小さいがある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	水産業の振興を図る上で、漁業協同組合への補助金等は、適切な範囲で執行していく。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	水産業の振興については、市民生活へ大きく寄与することから、市の水産業振興について協議を行う水産業振興協議会や、鎌倉、腰越両漁業協同組合への補助金の支出等は今後も継続する必要があり、事業費を削減する余地はない。 漁獲高にも限界があり、十分な供給ができていない状況にあるが、地場の水産物の供給に対する市民ニーズは高く、今後も市が主体的に水産業の振興を図る必要がある。 漁業協同組合による朝市等で市民に地場の水産物を供給するなど一定の成果は出ているが、今後も安定的に供給していくためには更なる努力が必要である。 受益者負担については未導入であるが、新たな歳入確保に向けて検討する必要がある。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	本市の水産業の将来あるべき姿や方向性を取りまとめ、市民の水産業への理解促進を行うための「水産業ビジョン」を作成する。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	鎌倉市水産業振興協議会で協議・検討を行い、「鎌倉市水産業振興ビジョン」の取りまとめを行った。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	「鎌倉市水産業振興ビジョン」を活用し、地場の水産物が市民の食卓へ届くよう、新たな施策の検討を行う。鎌倉市水産業振興協議会を継続し、漁業資源の減少や担い手不足等の問題について協議を行う。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	近隣の漁獲量(海面漁業生産統計調査より)									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市	
他市実績	279トン	1041トン	156トン	718トン	2118トン	8849トン	75トン	91トン	16135トン	
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
比較事項										
団体名	鎌倉市									
他市実績										
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方										

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉、腰越両漁業協働組合の正会員数						単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
漁業活動の主体となる漁業協同組合の正組員数を把握する。	目標値	75	80	80	80	80	80				
	実績値	70	68								
	達成率	93.3%	85.0%								
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--